V ロック電気錠 ES8000

取付説明書

1. 注意事項 …… P.1
2. モード設定 …… P.1
3. 取付手順 …… P.2～3
4. 結線 …… P.4
5. 仕様 …… P.4

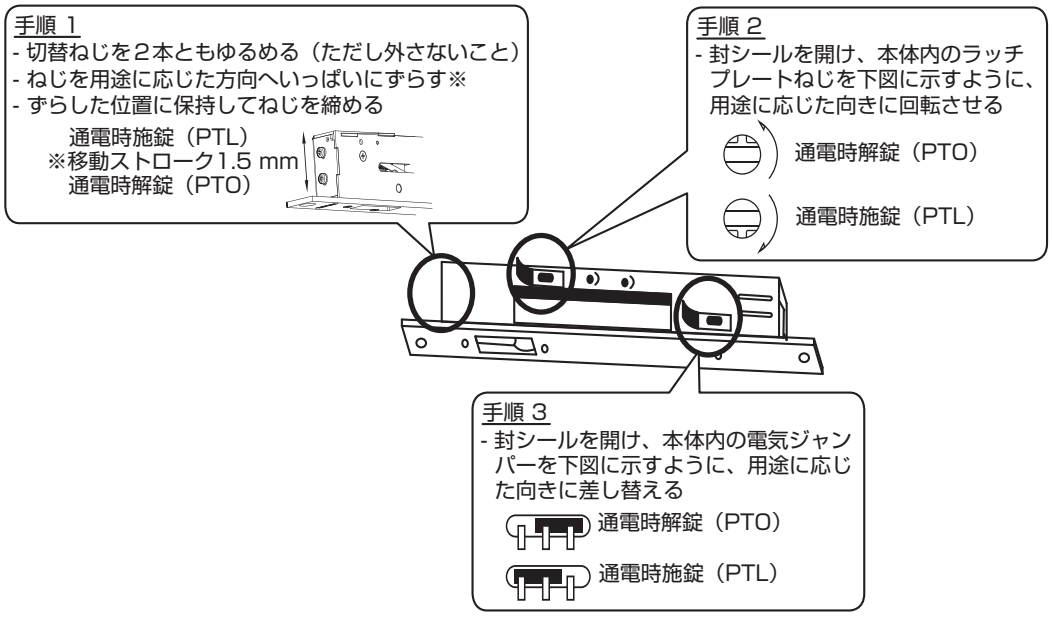
1.注意事項

・ V ロックES8000 は屋内専用です。屋外面や水掛かりの場所では使用できません。
・ 内開き、外開き、内外両開きの扉に使用できます。
・ 垂直、水平いずれの向きにも設置できます。ただし、
垂直に取り付けるときは上下を正しく設置してください。上下逆では正常に作動しません。
水平に取り付ける際は、本体を上（扉枠）ストライクプレートを下（扉）にしてください。
・ 正常に作動させるために、扉が閉った際の本体とストライクプレート（扉と扉枠）の隙間を3～8 mmの間にしてください。
・ 本来の性能を出すためには本体、ストライクプレートの取付場所にも強度を要求します。
・ 設定、組立取付結線が終了してから電源を入れてください。

2.モード設定（開梱したら最初に行ってください）

取り付け前に本体を通電時施錠型(PTL)、通電時解錠型(PTO)のいずれかに設定します。
下図の要領で3ヶ所とも行ないます。
単体でも通電させると変更できませんので慎重に決定してください。

モード設定　開梱したら最初に行なうこと(出荷時は通電時施錠(PTL)になっています)。



⚠ 注意

•封シールは、ほこりの浸入を防ぐためにモード設定後元通り塞いでください。

3.取付手順

図1　扉加工（ストライクプレート取付）

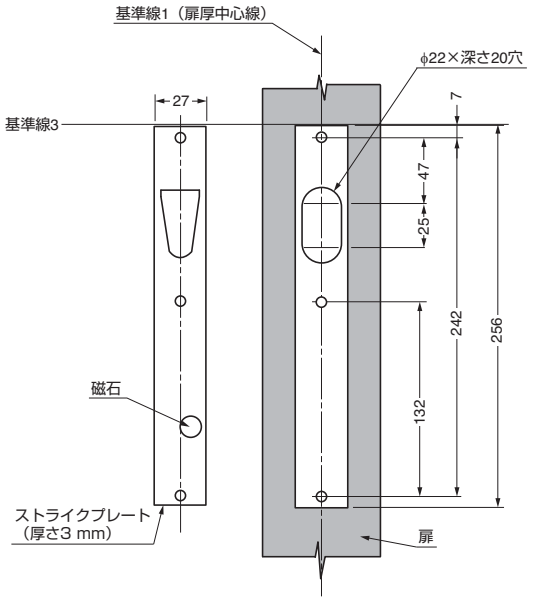
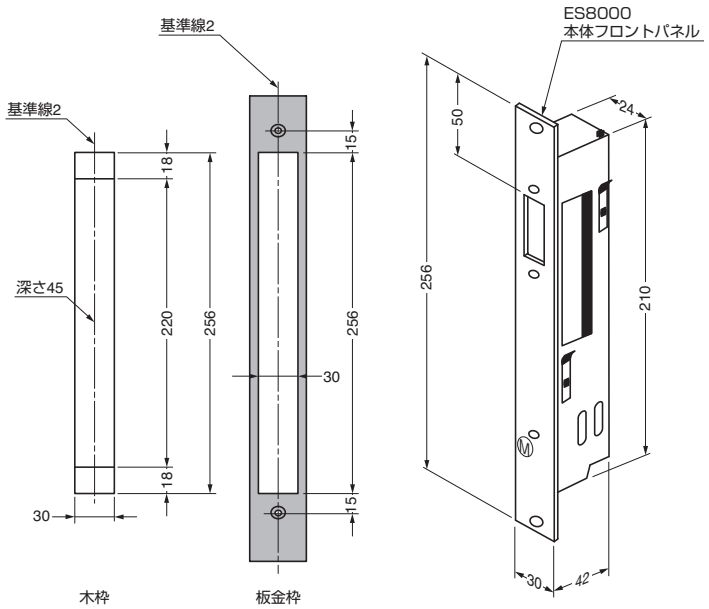


図2　扉枠加工（本体取付）



1 扉戸先端部面の中央に基準線１を引きます。（図１）

2 扉が閉った際の扉の基準線１と一致する基準線２を引きます。（図２）

3 基準線２から図２に示すように左右対称に本体のための切り欠き加工をします。
本体フロントパネルとストライクプレートは256×30（ストライクプレートは27）×厚さ3 です。
本体の電線　を通す穴も加工しておきます。

4 本体が引っかかりなく設置できるか、他の機器部品と干渉していないか確認します。

5 本体を扉枠に取り付けます。本体下部の電線コネクターを外し、別に配線しておきます。板金扉枠の場合は付属の座金を併用するなどして本体を取り付けます。（右ページ図３）

6 扉の本体フロントパネルの上端と一致している高さのところに基準線３を引きます。（図1）
基準線１、基準線３の位置を基に扉にストライクプレートのための切り欠き加工をします。

7 ストライクプレートを扉に取り付けます。ストライクプレートと本体フロントパネルの隙間を3～8 mmにしてください。

⚠注意

通電時解錠型(PTO)に設定の場合は、ストライクプレートだけを本体にあてがい、作動確認をしてください。
ストライクプレートを本体に取り付け、扉を閉めてしまい電源供給されない場合は、扉が開かなくなります。
作動確認後、ストライクプレートを所定の位置に取り付けてください。

8 電線を接続します。（後述）

9 電源を入れて作動を確認します。ストライクプレート上の磁石が本体フロントパネルのMマークの正面付近に来て、デッドボルトがストライク穴の範囲（図4）にあれば施錠作動します。

図3　取り付け

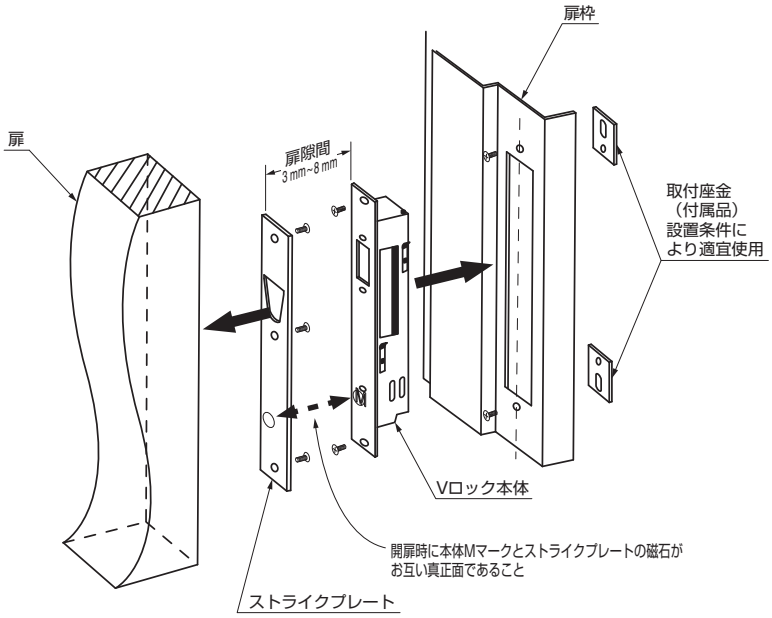
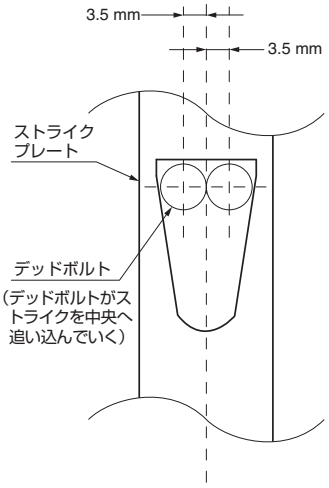


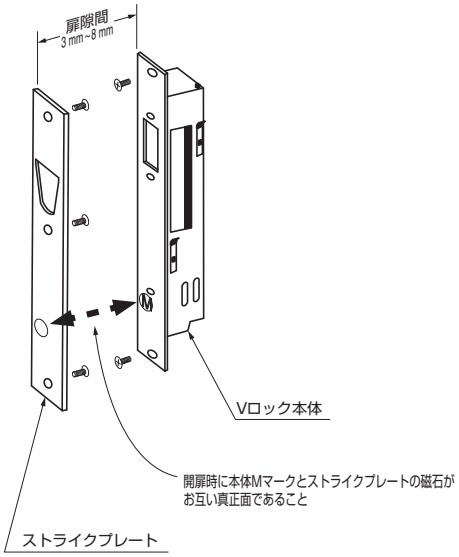
図4　ストライクプレート横ずれ許容範囲



本体、ストライクプレートの相対位置が許容範囲内でデッドボルトが作動するのに抵抗、障害があるとき、
繰り返し５回まで作動を試みます。
５回でも正常に施錠できなかった場合は作動部保護にため自動的に停止します。
取付部の建付け不良、クローザーなど周辺機器の不調、障害物が考えられますので修正してください。
その後もう一度スイッチを操作し、スイッチのプログラムが終了すると再起動します。

⚠注意

- ストライクプレート上の磁石が本体フロントパネルに重なるように取り付けてください。磁石とMマークが正面に重ならないと、デッドボルトは動きません。
- ストライクプレート無しでは作動しません。

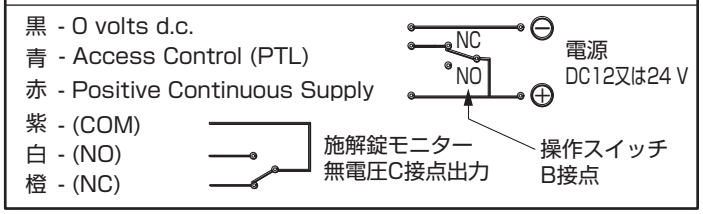


4.結線

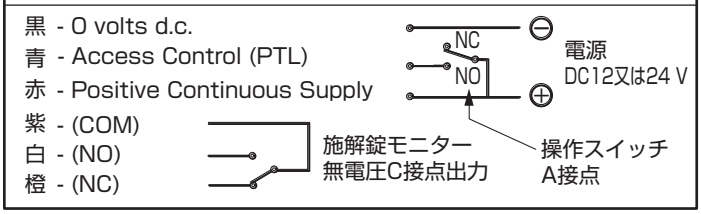
青（Access Control）と電源＋との間に操作スイッチ（錠種設定によりＡ接点あるいはＢ接点）を挟みます。
この結線であれば、デッドボルトに側圧がかかっても15 kgf までなら解錠します。
施解錠をモニターできる無電圧C 接点出力が付いています。錠種設定に関わらず施錠時に紫（COM）と橙（NC）が導通します。

電源はDC12 V、DC24 Vどちらでも動きます。
製品の安全のために極性反転接続に対する保護装置を内蔵しています。

通電時施錠型(PTL)　結線図(図は施錠中を示す)

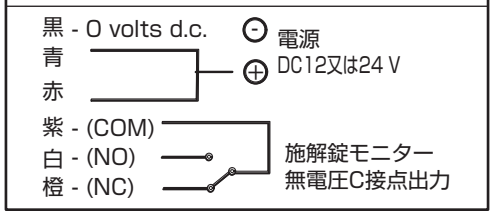


通電時解錠型(PTO)　結線図(図は施錠中を示す)



通電時施錠型（PTL）に限り、直接電源を入切させて青（Access Control）と電源＋間の操作スイッチを省略し２芯結線とすることもできます。
ただしこの場合は解錠する際のデッドボルト作動の耐側圧が3 kg に減ります。この結線方法は極力避けてください。

通電時施錠型(2芯のみの場合)　推奨しません



5.仕様

扉隙間	3 mm～8 mmまで
施解錠モニター出力接点	無電圧 C 接点接点容量 DC30 V 100 mA まで
保持力	1,000 kgf（ただしストライクプレートが扉に完全に保持されていること）
可動側圧	15 kgf まで (通電時解錠作動時、3芯制御) 3 kgf まで（通電時解錠作動時の解錠の際、2芯制御）
デッドボルト寸法	φ 11 mm× L20.5 mm
電源電圧	DC12 V (± 5%) または DC24 V(± 5%) 1 A 以上推奨
電流	通電施錠時 78 mA、通電解錠時 130 mA
横方向ずれ許容範囲	± 3.5 mmまで
使用環境	－ 10℃～+ 50℃ 湿度 90%以下

その他

サージ電流対策用にバリスタが付属しています。使う場合はできるだけ電気錠に近いところに接続してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

電話番号 03（3864）1122
受付時間　月～金　9:00～17:30（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03（3863）6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
ISO 9001（JSAQ384）・ISO14001（JSAE597）審査登録
※ISO9001：国内各拠点　※ISO14001：千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/

2017.03　0607-4